

平成 25 年度厚生労働科学研究費補助金（地域医療基盤開発推進研究事業）

「地域における産科医、小児科医の実態把握に関する研究」

分担研究報告書

ウェブサイト「小児医療の広場」の作成と公開

～ワクチン接種可能施設情報の提供～

研究分担者 和田和子

大阪大学医学部附属病院総合周産期母子医療センター・講師

#### 研究要旨

24年度の本研究では、地域に密着した小児医療に関する情報をインターネットを使って提供するために、ウェブサイト「小児医療の広場」をPC版、スマートフォン版ともに作成し公開した。乳幼児を持つ保護者にとってこどもの健康を守る上で重要な情報であるワクチン接種についての情報提供のため、接種可能施設を検索しマップ状に表示し、接種開始時期や同時接種が可能かどうかの絞り込み検索の機能も付加した。本年は協力施設をさらに増やし情報を更新した。アクセス数は決して多くないが、ほぼコンスタントにアクセスされていることから、このようなツールは有用であると考えられた。

#### A. 研究目的

昨年度立ち上げたウェブサイト「小児医療の広場」をさらに充実させ、インターネットによる地域における小児医療の最新で正確な情報を提供する。

#### B. 研究方法

昨年立ち上げたこのサイトのコンテンツは以下の通り。

- 1) 小児救急対応施設
- 2) ワクチン接種対応施設
- 3) 予防接種啓発
- 4) 小児科関連情報
- 5) 診療ガイドライン

本研究では、特にワクチン接種可能施設の位置情報をマップ上で可視化を試みアクセスもコンスタントにあったことから、本年度はさ

らに施設情報の更新を行った。

ワクチンの勧奨啓発活動に実績のあるNPO法人「VPDを知って、子どもを守ろうの会」の協力を得た。24年度は、本研究の主旨に賛同し、協力の了解の得られた402名の会員から、施設情報の提供を得たが、さらに25年度は、506施設に増加し、情報の更新を行った。

情報は以下の内容を含んだ。

- 1) 医療機関名、所在地、電話番号
- 2) 医療機関 ホームページ URL
- 3) ワクチン開始月齢
- 4) 同時接種本数

これらの情報を基に、ワクチン接種可能施設としてグーグルマップ上に表示し、承諾のあった施設のHPにリンクした。また、ワクチン開始時期と同時接種可能な本数の絞り込み

検索機能を付加した。

#### (倫理面への配慮)

NPO 法人「VPD を知って子どもを守ろうの会」の会員には、情報提供を得るにあたり文書で了解を得た。

#### C. 研究結果

ウェブサイト「小児医療の広場」、PC 版、スマートフォン版ともに、24 年 2 月から公開している。

<http://shyoni.org/>

この中のコンテンツ、ワクチン接種施設検索は、ワクチン接種可能な施設とリンク可能な HP の URL、開始時期と同時接種の絞り込み検索機能を付加している。1

アクセス数は別表に示す(表 1 表 2)

#### D. 考察

本研究では、先行研究にてウェブサイト「周産期医療の広場」<http://shusanki.org/>を運用してきた。このサイトは、信頼できる最新の医療情報を可視化し、市民、医療関係者、行政担当者等に提供するものである。今回は、同様の目的で小児医療に関連するサイトを構築した。

乳幼児をもつ保護者にとってのこどもの健康に関する最大の関心事は、小児一次救急とワクチン接種が挙げられる。このサイトでは、小児救急対応施設、ワクチン接種対応施設の検索サイトを設けた。また、ワクチンの啓発や、小児科関連情報、診療ガイドライン等、医療者にとっても有用なサイトを付加した。

特にワクチンについては、この数年にめまぐるしくスケジュール変更が行われ、生後 2 ヶ月から開始しなければならなくなった。従来のように、3 ヶ月健診時に BCG を案内し、保健師が以降のスケジュールを指導する方法が通用しなくなった。保護者には、早ければ妊娠中から、遅くとも 1 ヶ月健診の時点で、どこでワクチンが受けられるのかという情報を確保で

きる事が望ましい。一方で、出産を取り扱い、退院診察、一ヶ月健診を行う周産期医療関係者が必ずしもワクチン接種施設情報に精通しているとは限らず、保護者の居住地で、同時接種を行っているかどうか、スケジュール相談を行ってくれるかどうかを簡単に検索でき、情報を提供できればたいへん有用である。

施設情報の提供は、NPO「VPD を知って、子どもを守ろうの会」に依頼した。この団体は 2008 年に設立され、ワクチンで防げる病気 (VPD Vaccine preventable diseases) の情報提供、啓発活動、調査、等を行っている。本年度は 24 年度に登録した 402 件の更新と、新たな参加施設を加えた合計 506 件の施設情報をマップ上に表示した。アクセス数は決して多くないが、コンスタントにアクセスがあり、利用されていることが伺える。

情報の更新を遅滞無くおこなえるようなシステム作り、またこの HP 自体の広報などは今後の課題である。

#### E. 結論

地域住民と医療者にも有用な小児医療、特にワクチン関連の情報を本年度もさらに追加、更新した。今後は、最新情報を提供するためのデータの更新と広報が課題である。

#### F. 健康危険情報

特記すべき事項なし

#### G. 研究発表

##### 1. 論文発表

(発表誌名巻号・頁・発行年等も記入)

- 1) 東晴美 毛利育子 下野九里子 奥野裕子 橋雅弥 和田和子 谷池雅子 自閉症スペクトラム障害と診断された小児の周産期の危険因子 日本未熟児新生児学会雑誌 25 巻 2 号 177-189 2013
- 2) 和田和子 染色体異常と先天異常症候群の診療ガイド 出生後診断された先天異常新生児の家族への対応 新生児科医の対応 周産期医学 43 巻 3 号

2. 学会発表

1) 平田克弥 坂野公彦 北畠康司 大森早也佳 荒堀仁美 松浪桂 谷口英俊 和田和子 大園恵一 疾患特異的 iPS 細胞を用いたダウン症候群の病態解析(その1) 日本未熟児新生児学会 平成25年11月30日 金沢

2) 大森早也佳 坂野公彦 北畠康司 平野克弥 荒堀仁美 松浪桂 谷口英俊 和田和子 大園恵一 疾患特異的 iPS 細胞を用いたダウン症候群の病態解析(その2) 日本未熟児新生児学会 平成25年11月30日 金沢

3) 坂野公彦 北畠康司 大森早也佳 平野克弥 荒堀仁美 松浪桂 谷口英俊 和田和子 大園恵一 疾患特異的 iPS 細胞を用いたダウン症候群の病態解析(その3) 日本未熟児新生児学会 平成25年11月30日 金沢

4) 冬木真規子 荒堀仁美 谷口英俊 松浪桂 和田和子 味村和哉 金川武司 香川尚己 奈良啓悟 臼井規朗 多彩な合併症を伴い治療に難渋した Jarco-Levin 症候群類縁疾患の一例 日本周産期・新生児学会 平成25年7月14日 横浜

5) 高橋良子 味村和哉 金川武司 澤田真明 谷口友基子 遠藤誠之 松浪桂 谷口英俊 荒堀仁美 和田和子 木村正 日本周産期・新生児学会 平成25年7月14日 横浜

6) 藤田聡子 柿野藍子 金澤智子 味村和哉 谷口友基子 遠藤誠之 金川武司 荒堀仁美 和田和子 木村正 日本周産期・新生児学会 平成25年7月14日

7) 和田和子 大学における若手周産期専門医の育成 指導医の立場として 日本周産期・新生児学会 平成25年7月16日 横浜

8) 長谷川功 江原伯陽 金原洋治 田和子 田村正徳 Fukuda Yasuko 日本小

H. 知的財産権の出願・登録状況(予定含)

1. 特許取得 なし
2. 実用新案登録 なし
3. その他 なし

表 1 アクセス数の推移 PC 版

月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1
Top	1198	128	64	77	40	44	36	60	88	418	146	57
施設検索	2162	309	448	641	321	369	302	699	998	3909	824	824
合計	4087	537	585	808	418	463	373	887	1207	4548	2320	928

表 2 アクセス数の推移 スマートフォン版

月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1
Top	118	62	81	129	125	69	68	93	79	82	55	39
施設検索	441	323	599	946	824	550	395	483	420	464	285	284
合計	647	437	757	1190	1073	675	538	657	550	601	394	357